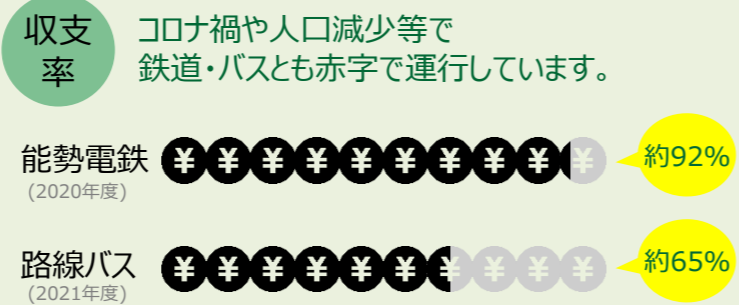


数値指標

- ・「豊能町地域公共交通会議」で継続的に検証・見直しに取り組みます。
- ・次の数値目標を定め、計画の推進と進捗管理を図ります。

| モード | 数値指標 (年度) | 単位 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2028 目標 | |
|---------------------|----------------|-----|---|-------|-------|-------|---------|--|
| 能勢電鉄 | 利用者数(町内3駅乗降者数) | 人/日 | 6,541 | 5,369 | 5,186 | 5,175 | 6,541 | |
| | 能勢電鉄線の収支率 | % | 107 | 92 | 92 | 106 | 100 | |
| 路線バス | 利用者数 | 千人 | 2,276 | 1,800 | 1,810 | 1,900 | 2,276 | |
| | 収支率 | % | 79 | 66 | 63 | 68 | 79 | |
| | 豊能町負担額(豊能西線) | 百万円 | 10 | 10 | 10 | 30 | 30 | |
| デマンドタクシー・AIオンデマンド交通 | 利用者数 | 人/年 | 令和4(2022)年7月1日のデマンドタクシー再編、 | | | | | |
| | 収支率 | % | 令和4(2022)~5(2023)年度のAIオンデマンド交通(HANI+)実証実験結果等を踏まえて設定 | | | | | |
| | 豊能町負担額 | 百万円 | | | | | | |

参考 地域公共交通の現状



参考 地域公共交通のススメ

| | | | |
|---|---|--|---|
| <p>クルマはお金がかかります。</p> <p>800 円/日以上</p> <p>クルマを「乗らずに持っているだけ」でかかる費用</p> <p>保険、税金、車検だけでこの値段。ガソリン代、駐車場、購入費用を考えると電車やバスより意外と高い。</p> | <p>クルマは事故が怖い。</p> <p>64%</p> <p>一生で人身事故を起こす確率</p> <p>クルマに50年間乗ると事故とは無縁でいられません。また、100人に1人は死亡事故を起こしています。</p> | <p>地域公共交通で健康に。</p> <p>2.2 倍</p> <p>クルマを使う人に対し、公共交通を使う人が消費するカロリーの量</p> <p>クルマは「楽」な分、公共交通と比べて身体を動かしません。公共交通に乗るだけで健康増進になります。</p> | <p>地域公共交通で環境志向。</p> <p>2.6 倍</p> <p>クルマを使う人に対し、使わない人が1日に排出するCO2量</p> <p>クルマを使う人は使わない人と比べて多くのCO2を出しています。</p> <p>資料：日本モビリティ・マネジメント会議</p> |
|---|---|--|---|



豊能町地域公共交通計画 概要版

策定 令和6年3月 計画期間 令和10年度まで 計画区域 豊能町全域

背景

能勢電鉄妙見線、阪急バス、京都タクシー、デマンドタクシー等の地域公共交通は、人口減少等により利用者が減少傾向にあります。こうしたことから、町では、2014年に「豊能町地域公共交通基本構想」を策定し、まちづくりと連携した地域公共交通の改善を図ってきました。一方で、今後の豊能町における地域公共交通では、北大阪急行電鉄延伸をはじめ、コロナ禍からの回復、担い手不足等、取り巻く環境の変化が想定されます。

目的

まちの将来像の実現を、交通サービスの面から支えるべく、地域・交通事業者・行政の連携・役割分担のもとで、まちづくりと協調しつつ、多様な輸送モードの組合せにより、自家用車以外でも移動できる環境の持続的な維持・確保・改善を目指し、「地域公共交通のマスタープラン」として、本計画を策定します。

計画の基本理念

とよの地域公共交通 リ・デザイン
まちづくりを支える交通サービスの創造的再構築で未来輝くまちへ

豊能町の最上位計画で目指すまちの将来像「自然に抱かれた多様性・創造性で未来が輝くまち とよの」の実現を“快適で住みやすい環境の整備：まちづくりを支える交通サービスの提供”の施策分野から支えます。また、地域、交通事業者、行政の連携・役割分担のもとで「豊能らしい新しい地域公共交通」を創造的にリ・デザインしていくことで、「使いたい 地域公共交通」「移動したいまち とよの」、ひいては「住み続けたい」持続可能な地域づくりを目指します。

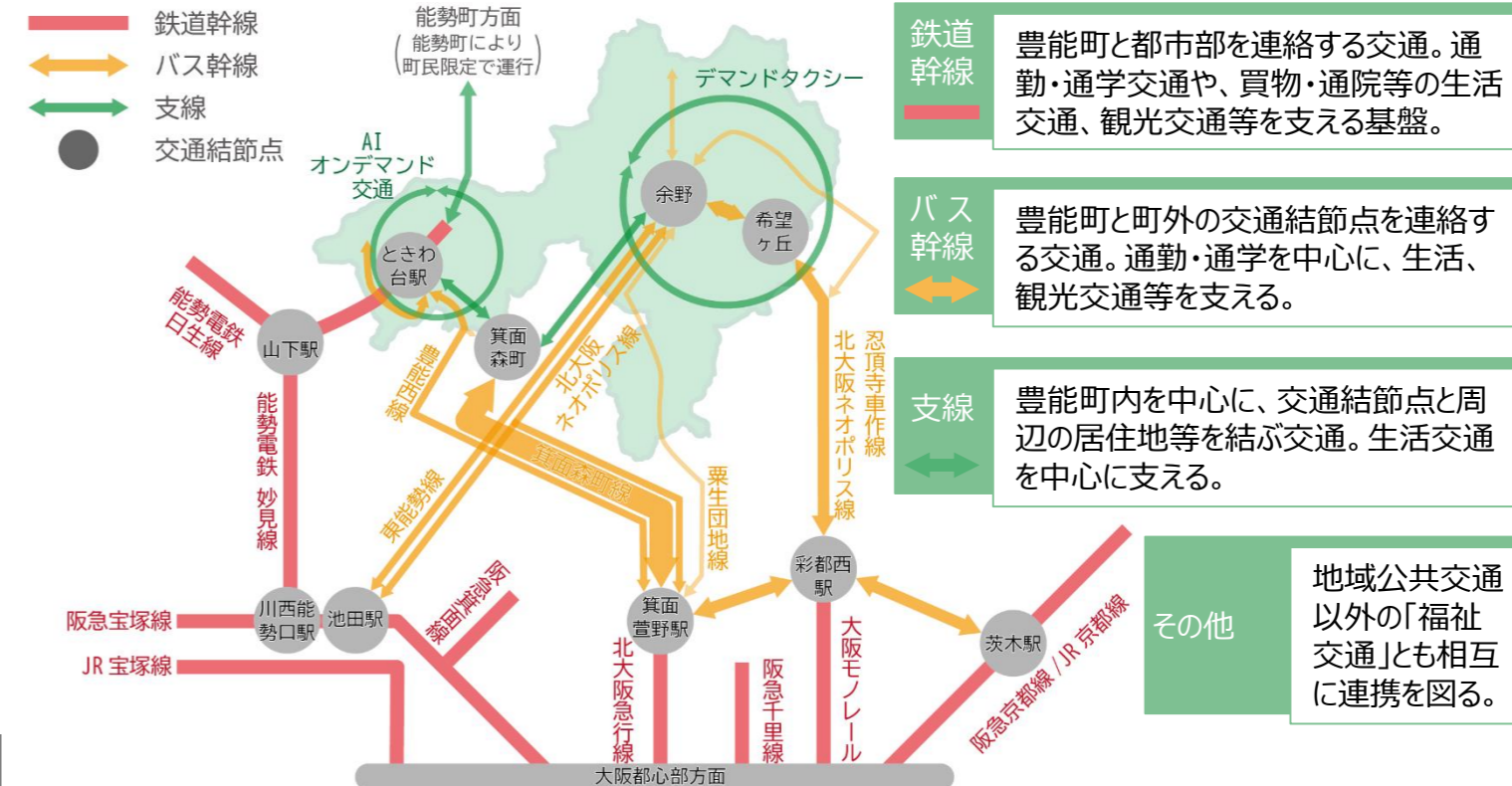
本町における地域公共交通の課題

- 広域/町内における地域公共交通の利便性向上
- DX/GXによるデジタル化や環境配慮型社会への推進
- 地域公共交通の持続可能な提供
- 効率的な行政運営
- 誰もが移動しやすい環境の維持確保
- 都市づくりや観光振興等と一体となった地域公共交通構築
- 地域づくりへの住民参画推進

基本方針

- A** 幹線・支線ネットワークでいつでもどこでも移動したくなる地域公共交通
- B** スマートで人と環境にやさしい地域公共交通
- C** まちの新たな価値を広める地域づくりと連携した地域公共交通
- D** チームとよの」で使い支える未来まで走る地域公共交通

将来ネットワーク



基本方針

A

幹線・支線ネットワークでいつでもどこでも移動したくなる地域公共交通

地域公共交通のベストミックスにより、町内外を結ぶ「幹線」と、町内を循環する「支線（フィーダー）」の役割分担を明確にすることで、利便性の高い地域公共交通ネットワークを構築します。

施策A-1 幹線の利便性向上と維持確保改善

鉄道の利便性向上と維持確保改善

- 鉄道の運行と改善
- 駅周辺の利用環境改善



能勢電鉄車内

路線バスの利便性向上と維持確保改善

- 路線バスの運行と改善
- 行政による運行費補助
- ◆ 国土交通省「地域公共交通確保維持費国庫補助金（地域間幹線系統）」の活用（豊能西線 光風台駅～箕面萱野駅）



希望ヶ丘を運行する阪急バス

施策A-2 町内移動の維持確保改善（支線、福祉交通）

町内における支線（道路運送法第4条）の維持確保改善

- デマンドタクシーの運行、再編
- 乗用タクシーの維持確保
- ◆ AIオンデマンド交通の導入
- ◆ 国土交通省「地域公共交通確保維持費国庫補助金（地域内フィーダー系統）」の活用



福祉交通との連携・役割分担

- 障害のある方等の移動手段確保にむけた福祉交通の運行（おでかけくん等）
- 豊能町役場庁内の地域公共交通部署・福祉部署間での連携



おでかけくん

基本方針

B

スマートで人と環境にやさしい地域公共交通

ICT・IoT技術を活用したスマートシティへの取組みと連携し、使いやすく持続性の高い地域公共交通サービスを創出します。

施策B-1 AIオンデマンド交通等の導入・改善

AIオンデマンド交通の導入・改善

- AIオンデマンド交通の実証運行と本格運行内容の検討（令和4(2022)～5(2023)年度の実証運行結果を踏まえて検討を深化）
- ◆ AIオンデマンド交通の社会実装と利用促進



施策B-2 人や環境に配慮した施設や車両への改善

誰もが利用しやすい地域公共交通への改善

- 駅周辺のバリアフリー化（ときわ台駅周辺整備、光風台駅エスカレータ維持 等）
- バス・タクシー車両のバリアフリー化（ノンステップバスの拡充、ユニバーサルデザインタクシー配備 等）
- 駅・停留所環境の改善（時刻表、路線等の分かりやすさ向上、ベンチ・上屋設置、待合室改善、地域による清掃 等）



ときわ台駅周辺整備

環境にやさしい地域公共交通への改善

- 人や環境に配慮したバス・タクシー車両の導入（ハイブリッド、電気 等）

基本方針

C

まちの新たな価値を広める地域づくりと連携した地域公共交通

“魅力にあふれるまちづくり”構築にむけ、都市づくりや観光振興等と連携したサービスを創出します。

施策C-1 鉄道駅や主要停留所周辺のまちづくり推進

駅や主要停留所の拠点性向上

- 駅・停留所への待合スペース確保
- ◆ 駅・停留所周辺施設における待合スペース確保の検討



待合室を備えた妙見口駅

駅・主要停留所周辺のまちづくり

- ◆ 地域情報の発信・地域資源の提供が可能な憩いの拠点づくり（光風台中央公園）

施策C-2 まちの拠点や居場所づくり、観光振興

まちの拠点や居場所づくりによる外出目的の創出

- 生涯学習等による外出目的の創出（高齢者向け講座「ウグイス大学」等）
- ◆ 来訪者へまちの魅力やコンテンツを発信するための情報コーナーや、休憩・飲食などができる機能を備えた拠点づくり

地域公共交通と連携した観光振興

- ◆ 妙見口駅周辺の観光施設との連携検討
- ◆ 地域公共交通と連携した観光施設アクセスやハイキング等の情報PR



廃止を控えて混雑する妙見の森ライト



廃止されたバス停留所は妙見山で保存

基本方針

D

「チームとよの」で使い支える未来まで走る地域公共交通

関係者の連携と役割分担のもとで、持続可能な地域公共交通を維持確保していきます。

施策D-1 地域公共交通を乗って育てる利用促進

鉄道・路線バスの利用促進

- ◆ 鉄道、路線バス、デマンドタクシー等が体となった「地域公共交通マップ」作成
- ◆ 小学校等における「鉄道・バス乗り方教室」の開催



地域公共交通マップ

IT・AIの積極活用

- 「阪急沿線アプリ」等による情報提供（路線バスの「バスロケーションシステム」活用 等）
- 「スマホ利用」の障壁緩和（中学生による高齢者向けスマホ教室での「AIオンデマンド交通」予約体験 等）



中学生による高齢者向けスマホ教室

施策D-2 地域公共交通の担い手確保

地域公共交通の担い手確保

- 交通事業者による担い手募集や育成
- ◆ 中学生の職場体験学習における能勢電鉄や阪急バス、京都タクシー等での受け入れ
- ◆ 町広報紙による担い手募集
- ◆ 町内への移住支援と連携した運転士不足解消の取組検討



町広報紙による地域公共交通の周知事例